



笑いあり、涙ありの傑作集

息子が地元のラグビースクールにお世話になりはじめてから1年と少し。

僕自身が昨年でアメフトのコーチに区切りをつけたので、見に行く機会も増えてきました。

そのラグビースクールさんが毎年発行してるという文集。

デジタル全盛の時代において、このアナログの温かみ。

ノスタルジーを感じさせる冊子です。また、この文集の中身が秀逸なんです。

手作り感が溢れてて温かい文集です。



毎年、年度末に発行されるのですが、卒部をする6年生だけでなく、幼年(幼稚園生)から全てのこどもたち。そして各学年のコーチ、6年生の保護者に至るまで。

ひとりひとりの想いがこの一冊に綴られています。

「スポーツがまったくできなかった僕がコーチに褒められた！」

「体育の成績が3だったのが、今は5になった」

「ひとりの力ではなく、皆の力を合わせないとトライを取れないことを知った」

感動する6年生のコメント。文集を読みながら涙が出てきそうになりました。

歳を重ねるごとに涙腺が弱くなってきているような気がします。。そして

「本当は行きたくないけど、やめることがで

きないのでガンバル！」

「友達と遊ぶのが楽しい」

正直すぎて思わずクスッと笑ってしまいそうな低学年のコメント(笑)

笑いあり、涙ありの傑作集！！と言ったら怒られるでしょうか・・・。

この文集を読ませていただくだけで、関わる方のスクールへの愛情がひしひしと伝わってきます。

我が息子も実力はともかく！？楽しくスクールに通わせていただいています。

そして親としても子の成長を肌で感じる事ができています。

献身的にご指導いただいているコーチの方々、そしてサポートしてくださる保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は9月に日本でラグビーのワールドカップが開催されます。

大会のキャッチコピーは

「4年に1度じゃない！一生に一度だ！」

アメフトとは似て異なるラグビーのルールも少しづつわかってきたので、観戦するのがとても楽しみです。



似てますか？笑。子供以上に真剣に練習してます。笑